

## 派遣留学生帰国報告書

\* 復学後の情報を入力してください

記入日	2018年5月19日
所属学部	国際教養学部
所属学科・専攻	国際教養学科

## 1. 留学先について

留学先大学名	プリンスエドワードアイランド大学					
留学先所属学部等	環境学科					
留学期間	出発日 8月30日	入学日 9月6日	修了日 4月19日	帰国日 4月26日		
住居	<input checked="" type="checkbox"/> 大学(紹介)の寮・アパート	<input type="checkbox"/> 民間アパート	<input type="checkbox"/> その他( )			
	通学時間				<input checked="" type="checkbox"/> On campus	
	通学方法					
	居室スペース	個室 <input checked="" type="checkbox"/> ( 2 ) 人部屋	<input type="checkbox"/> その他 ( )			
	共有スペース	完全個室 <input checked="" type="checkbox"/>	キッチン <input checked="" type="checkbox"/>	トイレ <input checked="" type="checkbox"/>	バス <input checked="" type="checkbox"/>	リビング <input checked="" type="checkbox"/>
食事	自炊 10 %	学食 89 %	外食 1 %	その他 % ( )		
保険	海外旅行保険(名称)	TuGo Travel Insurance				
	派遣先大学指定の保険(名称)				<input type="checkbox"/> 強制加入	
	その他					
渡航ルート	ex.) 成田⇔シカゴ(飛行機)⇔ウィスコンシン(電車)					
	成田 ⇔ トロント(飛行機) ⇔ シャーロットタウン(飛行機)					

## 2. 留学にかかった費用について

総費用	150万	円			
出帆					
自費	貯金 40万	円	アルバイト	円	その他 円
援助	両親 10万	円	家族・親戚	円	その他 円
奨学金	JASSO	円	その他名称( トビタテ )	153万	円
その他	千葉大学助成金	円	その他( )		円

## 2-1. 財政管理の方法

渡航時	現金 40万	円	その他( )		円
留学中	海外送金 <input checked="" type="checkbox"/>	キャッシング <input checked="" type="checkbox"/>	その他 ( クレジットカード )		

## 2-2. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	クレジットカード
住居にかかった費用	キャッシュ(海外送金でも可)
その他	

## 2-3. 内訳

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)			220,000	円
海外旅行保険			40,000	円
OSSMA			10,000	円
査証・在留許可証				円
住居			900,000	円
食費			100,000	円
通学に要する交通費				円
教科書、教材費			30,000	円
その他大学に支払った経費				円
光熱費				円
その他 ( 娯楽 )			200,000	円
その他 ( )				円
その他 ( )				円
その他 ( )				円

## 3. 学業面

履修科目名	種類ex.正規、聴講	単位数	単位互換認定申請の有無		
			有	無	無
1 Current Issues Enviro. Biology	正規	3	✓	有	無
2 Ecology	正規	3	✓	有	無
3 Intro to Environmental Studies	正規	3	✓	有	無
4 Societies and Sustainability	正規	3	✓	有	無
5 Earth`s Physical Environment	正規	3	✓	有	無
6 Society and Natural Resources	正規	3	✓	有	無
7 Environmental Governance	正規	3	✓	有	無
8				有	無
9				有	無
10				有	無

## 3-1. 授業科目の選択、登録方法

授業科目の選択は大学のポータルへログインして見つける。履修の際は大学のExchange Coordinator へ履修したい科目を直接もしくはメールで伝え、履修登録してもらう。自分では履修不可。登録時期は授業が始まってから。

## 3-2. 授業内容、方法に関して

自分は生物学と環境学の授業を履修。基礎から応用まで幅広い内容を勉強した。フィールドワーク型の授業も履修。

## 3-3. 語学力について

渡航した際にはTOEFL iBT 80点ほどであった。しかし、授業にはついていけた。プレゼンやディスカッションの際にはスピーキングに問題があった。留学を通してかなり改善された。

## 3-4. 図書館など学内施設について

ロバートソン図書館という図書館が学内にある。千葉大の図書館ほどではないが広く、勉強に使われることが多い。自分自身はあまり利用しなかった。ここで授業プリントなどの印刷をする際には学生アカウントにお金を入れてから印刷する。印刷は有料。

## 3-5. その他

--

## 4. 生活面

### 4-1. 住居について

大学寮は全部で3種類(ブランチャード、バーナディーン、アンドリュー)。私はバーナディーンに住んでいた。部屋は二人一部屋の一番安い部屋で、仕切りがないためプライベートはない。これがかなり精神的に苦痛だったため、この寮はお勧めしない。多少高くても、ブランチャードに住むべき。(アンドリューはその大学の正式な生徒しか基本はいれない)また、寮の部屋内にはベッドと机と物置しかないの、残りは自分で揃える。寝具だけは早いもの順に無料で大学から支給されるので早いうちに受け取りに行くべき。

### 4-2. 食生活について

留学中の9か月間はずっと寮の食事プランを買い、食堂でご飯を食べていた。しかし、寮の食事はおいしくないためあまりお勧めしない。時間があれば自炊をするべき。上手くいけば料理の腕は上がるし、食事代を1セメスターごとに10万円ほど節約できる。

### 4-3. インターネット環境、携帯電話について

学内のあらゆる場所にWi-Fiが通っている。もちろん寮内にもWi-Fiはある。Wi-Fiさえあればなんとかなったので携帯電話の契約はしなかった。

### 4-4. 服装について

冬は一番寒いときには-30度までさがるので防寒具は必須。厚手のジャケットかコートは持っていくべき。もしくは現地で購入するべき(自分は現地のブラックフライデーという激安セールの際に購入した)。また、田舎でおしゃれをする人が全くいないため、衣服はそこまで種類をそろえて持ってくる必要はない。おしゃれは逆に目立つ。

### 4-5. 健康管理について

特に何もしなかったが病気にはかからなかった。また体調不良もほとんどなかった。

### 4-6. 保険、OSSMAの利用

利用機会がなかった

### 4-7. 課外活動について

環境学会という学生主体の団体に参加。主に地球温暖化、島の環境をよくするにはどうすればいいか、これからの活動についてなどのディスカッションに参加。また、大学の先生の知り合いを通して、外部の苗木園への取材を行った。島の森林管理や森林プログラムについてお聞きした。

### 4-8. 学外のコミュニティとの交流について

学外とはとくに交流なし

### 4-9. 日本から持参してよかったもの

真空パック-帰国時のパッキングの際に役立つ  
スポーツドリンクの粉-部屋でのどが渴いたときにすぐ作れる

### 4-10. 日本から持参したが不要だったもの

衣服-大量に持ってきたが大学の友人を通して教会へ半分以上寄付して帰国。

### 4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

同じアジア圏の近い文化の人と一緒にいるのが一番気楽なので、集団ができる際にはだいたい同じような出身のグループになる。留学中一番仲が良かったのは韓国人と台湾人であった。

## 4-12. 余暇の過ごし方

## 旅行

ハリファックス観光 2017年 9月(3日間) 4万円  
 ノバスコシア観光 2017年 11月 (3日間)4万  
 島の内部 旅行 2017年 11月 (一日) 1万円  
 トロント旅行 2018年 4月 (6日間) 8万円  
 すべてカナダ国内。

その他 \* 気分転換やストレス発散法など。

大学のジムが無料で使用できるので是非気持ちよく通うことをお勧めする。また、学内にあるティムホートンというカナダではよくあるカフェへはぜひ一度通ってみるべき。様々な種類のコーヒーがある。私はカフェモカを好んで飲んでいました。

## 5. その他

## 5-1. 留学先大学について

私は環境学と生物学を学びに留学しましたが、とても良い教師がそろっており、勉強面では大変満足した。大学設備もよく整っていた。

## 5-2. 留学希望者へのアドバイス

プリンスエドワード島は面積が小さいため、数か月であらゆる場所を観光し終わる。なので、1セメスター留学する分にはいいが、1アカデミックイヤー留学するとなると飽きが来る。個人的には1セメスターの留学がおすすめ。

## 5-3. 留学を終えて

今回の留学は、勉強面では期待以上のものを得られたと思っている。しかし、留学前に現地でたくさん友達を作ること为目标としていたが、これがなかなか難しかった。すれ違ったときに挨拶する程度の仲になる人は沢山いたが、一緒に遊べるくらい仲良くなれたのは数えるほどだ。結局は近しい文化のアジア系の人たちと一緒に過ごすことが多く、同じ人種で固まってしまった。留学を終えた今、留学中に興味を持った分野を勉強していきたいという思いが強まった。また、自分の英語スキルの上達と、クリティカルシンキングのスキルの向上のおかげでディベートにある程度自信を持てるようになった。